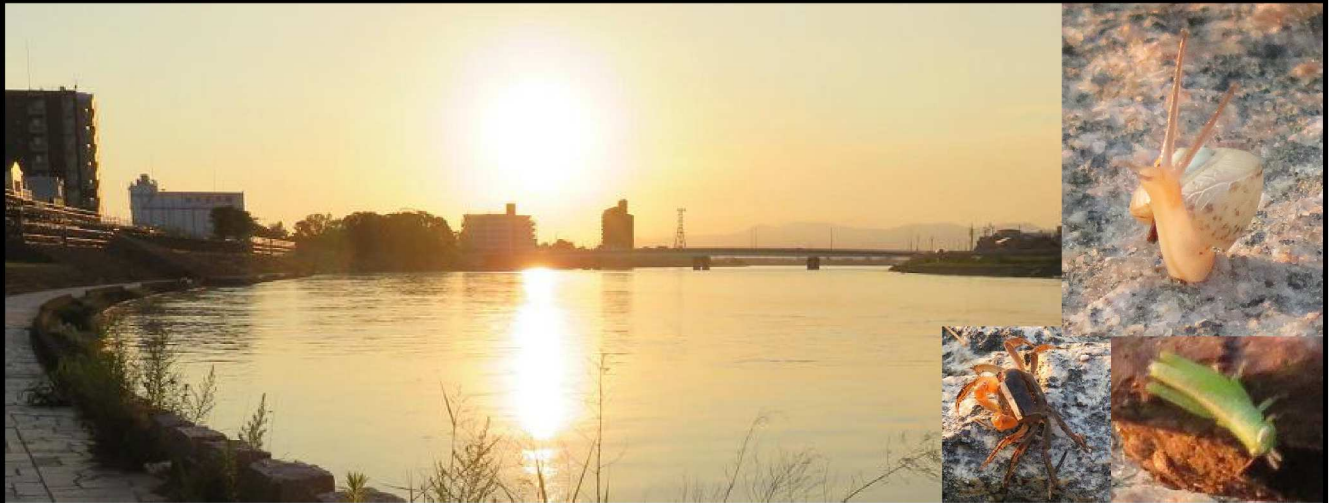


7月	豊川 愛護モニタ一報告	モニタ一区間	豊川：左右岸 0.0km~6.2km
			管轄出張所：豊川出張所
実施日	令和元年 7月4日, 15日, 20日	実施区間	吉田大橋付近、上渡津橋付近



7月4日午前中に豊川放水路分流堰ゲートが開放されると「豊橋ほっとメール」で知った。雨も上がり晴れたので仕事帰りに吉田大橋下の遊歩道に来てみると穏やかに豊川は流れていた。前日からの大雨もしっかり水量を調節してもらえて安心。カニ、カタツムリ、謎の生物にも遭遇。後日ネットで昆虫の専門家に、「カタツムリはコハクオナジマイマイという種類かも、緑色の生物は、コバネイナゴなど、イナゴ類の一種の幼虫だと思います」と教えていただきました。



7月15日、梅雨真っ最中で降ったり止んだりの天気の中、右岸3.2kmの葦原には流れ着いたと思われるゴミがたくさん。反対岸では、しじみ採りをされてる人がたくさん見えた。豊橋祇園祭の打上花火の機敷が樹を避けて設置されていた。



豊川河畔の夜には一年でおそらく一番人が集まる豊橋祇園祭前夜祭当日。曇っているが蒸し暑い中、朝から水面や河川敷は作業をする人や船や車がたくさんあった。吉田大橋の歩道も、一方通行になるよう整備の準備が始まっていた。金色島辺りから、しばらくの間煙と音の花火が上がっていた。夜用のものと思われる花火が並んでいるのが見えた。豊橋祇園祭は江戸時代の日本三大花火だそう。昔から豊川は風物詩にもなる場所だったので実感出来る日。天気は夜までもって、今年も盛大な花火大会が無事行なわれた。

